

令和元年度特別展示「おいでよ！まぼりの森-馬堀自然教育園の60年とこれから」制作業務委託 仕様書

特別展示「おいでよ！まぼりの森-馬堀自然教育園の60年とこれから」制作委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目 的	①令和元年度博物館特別展示「おいでよ！まぼりの森-馬堀自然教育園の60年とこれから」(令和元年7月27日～令和元年11月4日)に設置、展示するパネル類、模型等を制作し、納品すること。 ②特別展示終了後に展示物の一部ならびに新規のパネル類を常設展示および馬堀自然教育園学習棟(横須賀市馬堀4丁目10-3)に移設・設置すること。
2	履 行 期 間	契約日から令和2年2月28日 (特別展示関係の納入及び展示は令和元年11月4日まで)
3	施 行 場 所	横須賀市自然・人文博物館3階特別展示室 (横須賀市深田台95番地) 移設先:馬堀自然教育園(横須賀市馬堀町4丁目10-1番地)
4	業 務 内 容	別表のとおり
5	特 記 事 項	・本案件には、制作納品された展示物の取り付けを含む。 ・制作納品された展示物の破損の原状回復について、特別展示期間中に監督員から別途指示があった場合には、受託者の負担で原状回復を行うこと(ただし、破損の原因者が特定でき、かつその破損が故意によるものと委託者が判断した場合を除く)。 現場作業の手順 1)調査・確認:展示場所の現況及び現場作業項目を調査・確認後、手順や作業内容等について当館職員と事前確認を行う。 2)養生・準備:展示室内の作業による傷が生じないように養生を充分に行う。作業対象箇所周辺の立ち入りを制限する立ち入り禁止表示付きの簡単な柵を設ける。その他、来館者の安全対策には充分に配慮すること。 3)展示物の設置:事前承認を経て製作された展示物や造作物を所定の場所に設置すること。展示品寸法は現場合わせの作業を要するものがあるので、これを踏まえた態勢で製作・納品すること。
6	関 係 法 規	
7	資 格 要 件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 (1)平成26年4月1日以降に、博物館(公私を問わず)と元請けとして展示制作業務の契約を締結し、完了した実績があるもの。 (2)上記の(1)の実績を示すため、当該展示制作業務の契約書及び仕様書の写しを、横須賀市契約課に参加申請時にFAXし、入札参加資格の確認を受けること(FAX. 046-828-3839)。
8	契 約 方 法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支 払 方 法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	そ の 他 事 項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監 督 員 連 絡 先	横須賀市自然・人文博物館 海洋生物学担当 萩原清司 代表電話046-824-3688

〈指示又は注意事項〉

グリーン物品購入及び環境配慮関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
------------------	---

令和元年度 馬堀自然教育園開園60周年特別展示 特記仕様書(別表)

*

委託製作物と業務の内容は、下表・特別展示「おいでよ！まぼりの森-馬堀自然教育園の60年とこれから」展示制作委託仕様(一覧)、別添の製作内容図面の通りである。展示するパネル類、造作物を製作し、設置するとともに、会場入り口の化粧仕上げゲート等の会場設営物の製作設置と会期終了後の撤収および指定した造作物の運搬・移設作業を行う。

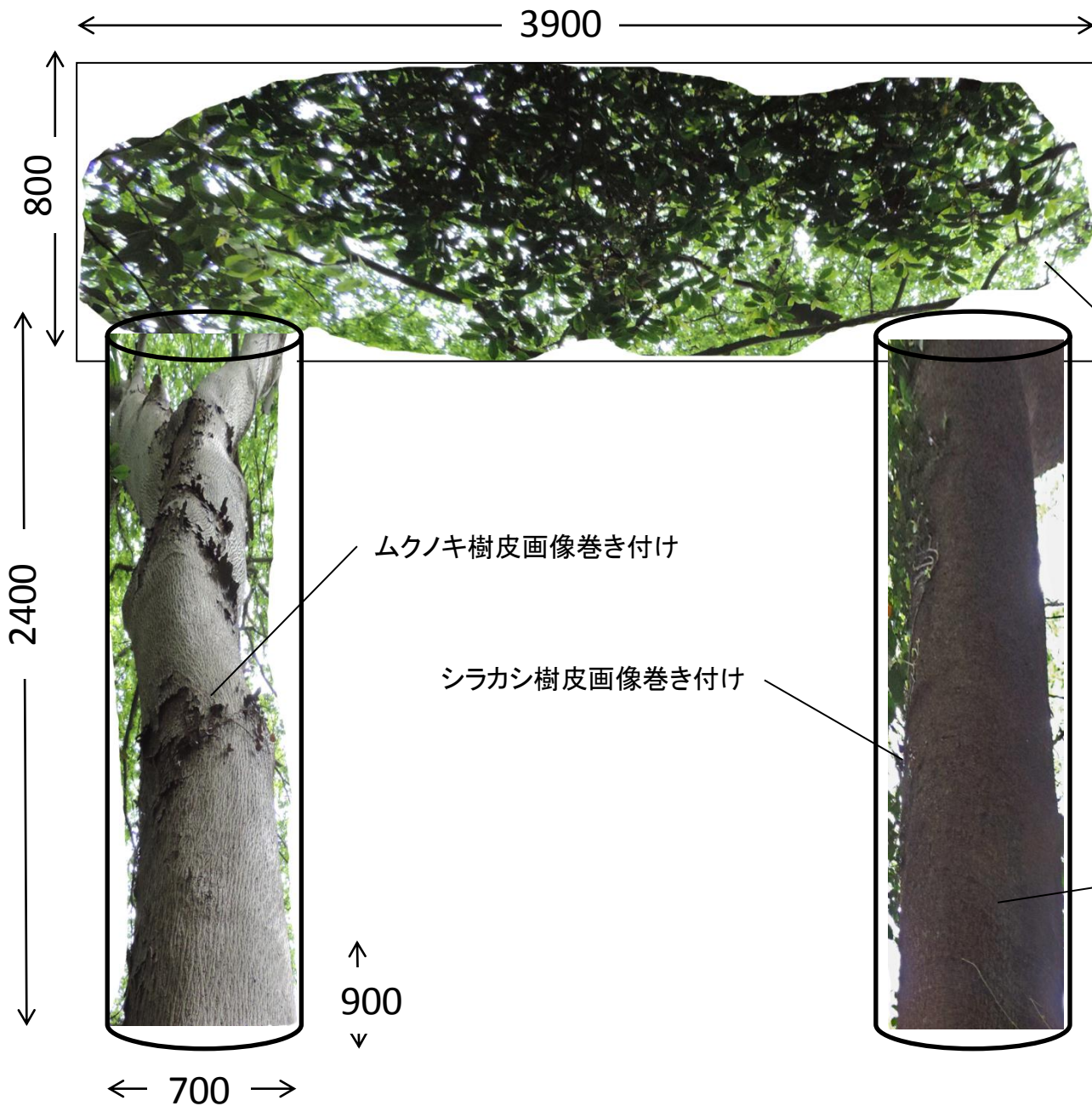
運搬・移設先は横須賀市馬堀町4-10-3馬堀自然教育園とする。

表 令和元年度特別展示「おいでよ！まぼりの森-馬堀自然教育園の60年とこれから」展示制作委託仕様(一覧)

図番	種類	品名	サイズ	数量	単位	仕様
①	入り口ゲート	入り口ゲート(巨木模型)、変形の円柱(木工ベース、紙貼り仕上げ)	H2400mm W700mm D900mm (Φ900の円柱の端を200mm落としたもの)	2	点	外法:H2400mm、W3900mm 内法:H1700~2000mm、W2500mm 製作に際しては現場合わせを入念に行い、展示室入口と外法が一致するように設置(ただし防犯カメラが隠れないようにする)。 ゲート表面には電子データで提供する樹木(シラカシとムクノキの樹皮)写真を用いて装飾する。顔料系インクを使用、またはラミネート加工を施し、耐用性のあるものとする。設置にあたっては転倒防止処置に十分な配慮をする。ゲート上部は葉をプリントしたタペストリー(樹冠をイメージ)を天井部から設置。 樹木の画像は博物館が提供する。
		ゲート上部、タペストリー	H800mm W3900mm	2	点	パーテーション(当館現有:H1900mm×W900mm、パーテーションポール:W約100mm)に対する出力シートによる化粧。2枚片面貼付×2点(2枚一組とし、合計4枚分を装飾)。一点についてはタイトルロゴを1000×1000mm程度の大きさで出力。1回校正を行う。 背景となる画像は博物館が提供する。
②	タイトル看板	パーテーション装飾 *デザインを含む	H1900mm W1900mm	2	点	当館が提供する馬堀自然教育園の草地画像を展示室床面に張り付ける。シートは展示終了後に展示室床面に損傷なく剥がせるものを使用すること。
	床面シート	床張り写真(H1500mm、W1500mm、耐踏シート)	H1500mm W1500mm 寸法は目安	1	点	馬堀自然教育園や横須賀市の歴史年表、歴史を象徴する景観や生物の写真の貼り込む。当館が提供する歴史年表のテキストと写真の電子データを使用してレイアウトデザインし、2回校正を行う。
③	パネル	年表パネル(H450mm×W3900mm、インクジェット出力、アルミフレーム付スチロールパネル、ラミネート加工) *会期終了後の運搬・移設を含む	H450mm W3900mm 寸法は目安	1	点	6枚のA2サイズ(横)の木製枠パネルにインクジェット出力した航空写真と撮影年月日のテキストを貼り込み、ラミネート加工。さらにボルトナットで横6枚を連結(縦にも連結可能な仕様とする)。航空写真及びテキストは当館から提供する電子データを使用してレイアウトし、1回校正を行う。
	パネル	馬堀自然教育園航空写真パネル(A2横、木製枠、ラミネート加工、6枚組、縦1枚・横6枚の連結) *会期終了後の運搬・移設を含む	A2判(約600mm×420mm)×6、組み合わせサイズ約H420mm×3400mm	6(1)	点(組)	背面化粧板(自作パネルを着脱可能な加工とする)を出力したA1横のパネルに拡大模型を固定する(模型も制作する)。パネルはパーテーションボード(当館現有:H1900mm×W900mm)にビス止め等で固定できるようにする。展示可能な構造であればこの限りではない。2回校正を行う。 模型および背景は博物館の提供する画像を参考にしてデザインする。
④	パネル	拡大模型付きパネル(A1横、背面化粧、木製枠、ラミネート加工、3枚) 模型製作は9点(ホタル2種、樹皮1点、どんぐり容器6点) *デザイン、会期終了後の運搬・移設を含む	A1 H600mm W840mm	3	点	

⑤	造作物	書割り(スチロール製、H200～600mm、W200～400mm) 草本植物2点、木本植物2点 * デザインを含む。	200～600mm W200～400mm	4	点	ウォールケース内で馬堀自然教育園の森林を表現する造作物として、植物を模した書割りを製作する。博物館が提供する草本植物及び樹木の写真を参考に制作すること(イラスト)。製作に際しては現場合わせを入念に行い、他の展示物のレイアウトを配慮した配置を行うこと。1回校正を行う。
⑥	造作物	木製階段(踏み台)、垂直面グラフィック化粧、天板耐踏グラフィックシート張り	H600mm W1200mm D600mm 蹴り上げ300mm 踏面300mm、600mm	1	点	踏み台として使用する木製階段を製作する。展示後は化粧箱(展示台)としても使用できるようにする。片面に展示のイメージに沿うような出カシートによる化粧を行う。階段部分の天板は踏圧や滑落転倒に配慮して耐踏シート張りとする
⑦	造作物	防爆壁を模した壁(インクジェットシート、H2700mm、W2700mm) * 拡大した提供画像の貼り付け	H2700mm W2700mm	1	点	既存の壁面に防爆壁の画像をインクジェット出力したシートを吊り下げる。
⑧	造作物	木製遊具 木製台H600mm×W2000mm×D600mm アクリルカバー付き展示ケースH900mm×W2000mm×D600mm 背景は森をイメージしたデザイン * デザイン、会期終了後の運搬・移設を含む	H1500mm W2000mm D600mm 寸法は目安	1	点	どんぐりに見立てた木の球を木製展示ケースの外から挿入し、ケース内のレールの上を転がり、いくつかのパターン(そのまま発芽する・タイワンリスに食べられる・アカネズミに埋められる)を経てボールが土に還る(ボール回収箱に落ちる)様子を楽しむ玩具。 造作物をさわられないようにアクリルのカバーを付ける。
⑨	造作物	水槽台木工水槽台(H650mm、W620mm、D470mm) および市販の60cm水槽用LED照明装置	H650mm W620mm D470mm	5	点	当館に既存の60cm規格の飼育水槽(使用時重量最大約100kg)を載せる木工品。前面、側面、天板は防水加工したベニヤ。背面は開放にして当館に既存のエアポンプを設置(吊り下げ)できるようにする。60cm規格の水槽用LED照明装置5点を伴う。
⑩	造作物	壁面装飾(木製) * 会期終了後の運搬・移設を含む	H1200mm W900mm D150mm 寸法は目安	6	点	壁面をすのこ状のものをワイヤー(ワイヤー用のレールは既存)で吊り下げて装飾する。展示終了後に展示室壁面に損傷なく取り外し、移設できるようにすること。
その他	展示物設置等	展示物の設置・撤去・固定化		1	式	委託製作物を所定の位置に設置納入のこと。入りロゲート、展示台等の大型制作物を安全に設置・取り付け・固定すること。特別展示会期終了後は一部の当館が指定したもの以外の製作物を撤去し、撤去した制作物の処理は製作者側で行うこと。製作物のデザイン・イメージは統一する。

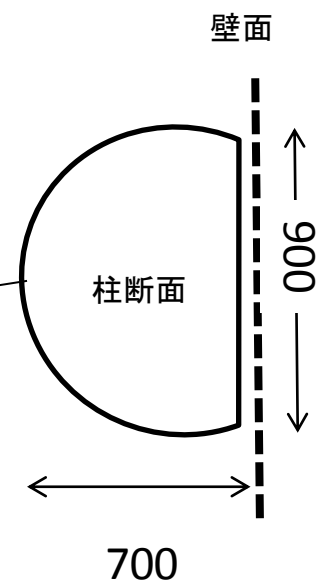
①-a 入口ゲート ①-b ゲート上部



※樹冠・樹皮の画像は博物館提供

樹冠をイメージしたタペストリー 2枚

※ 左右とも柱はカマボコ型



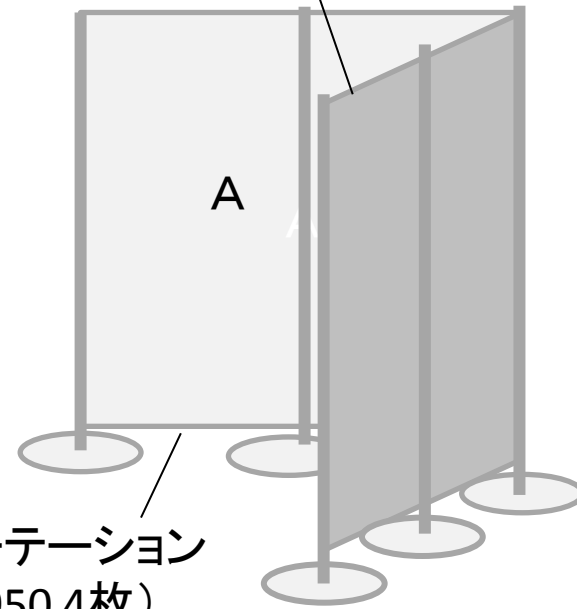
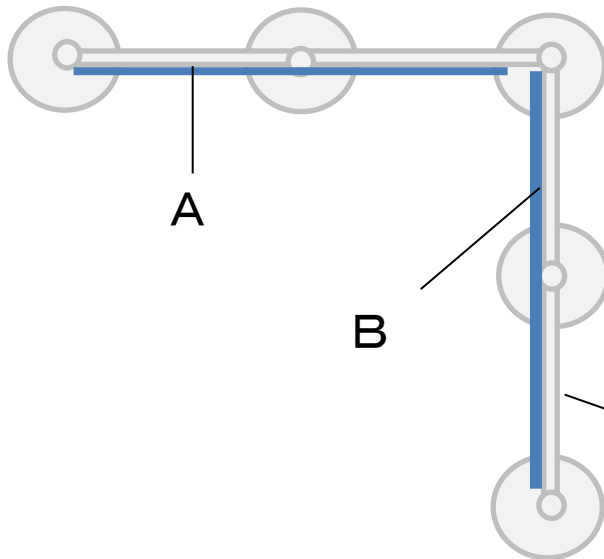
②-a タイトル看板



※森林の画像は博物館提供

A

B



既存のパーティション
(1900×950 4枚)

②-b 床面シート

耐踏シートインクジェット出力

← 1500 →

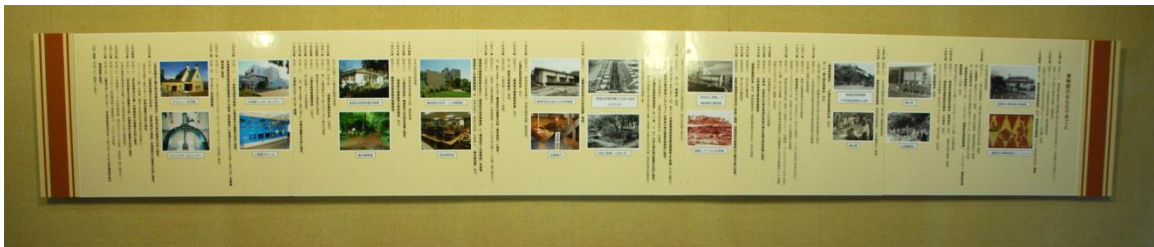
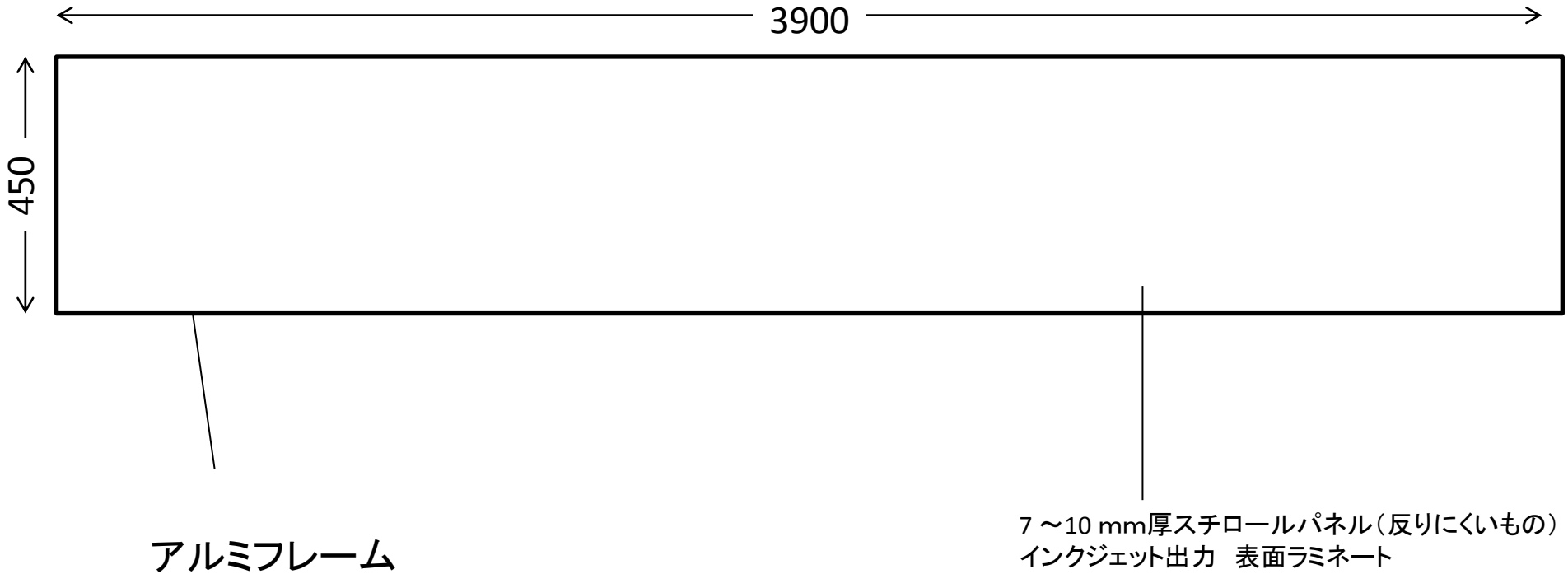
↑
1500
↓



※ 画像は博物館が提供

③-a 年表パネル

※テキスト原稿渡し、要レイアウトデザイン



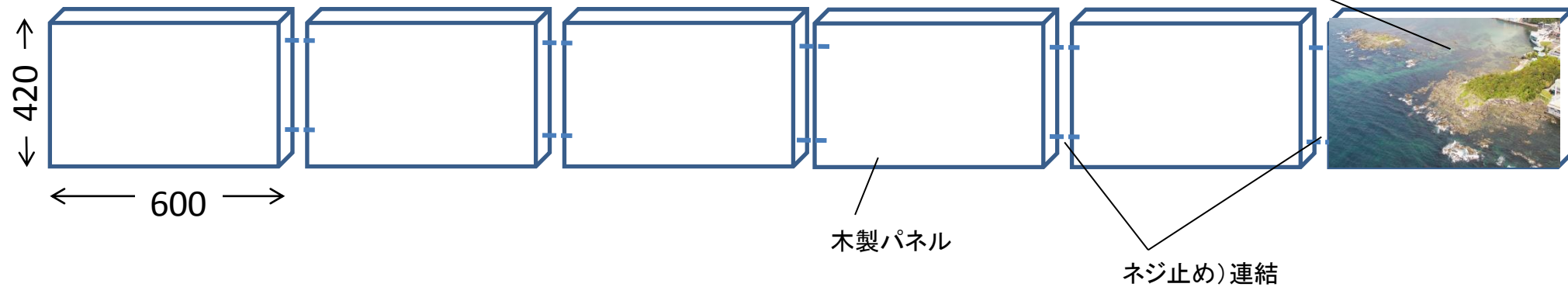
完成イメージ(博物館年表)

※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

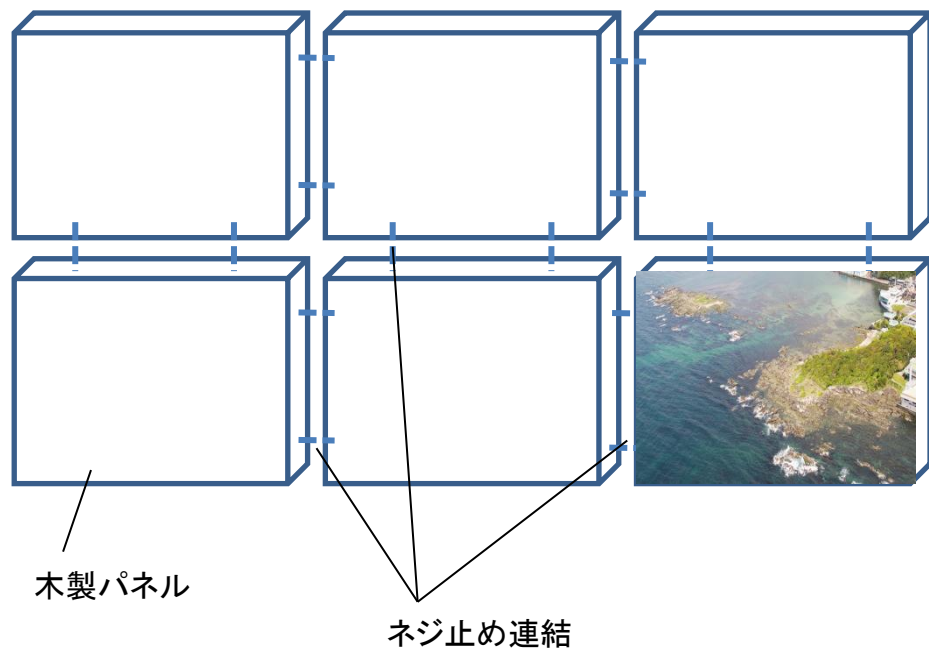
③-b 馬堀自然教育園航空写真パネル

※ 画像は博物館が電子データで提供

インクジェット出力 ラミネート加工

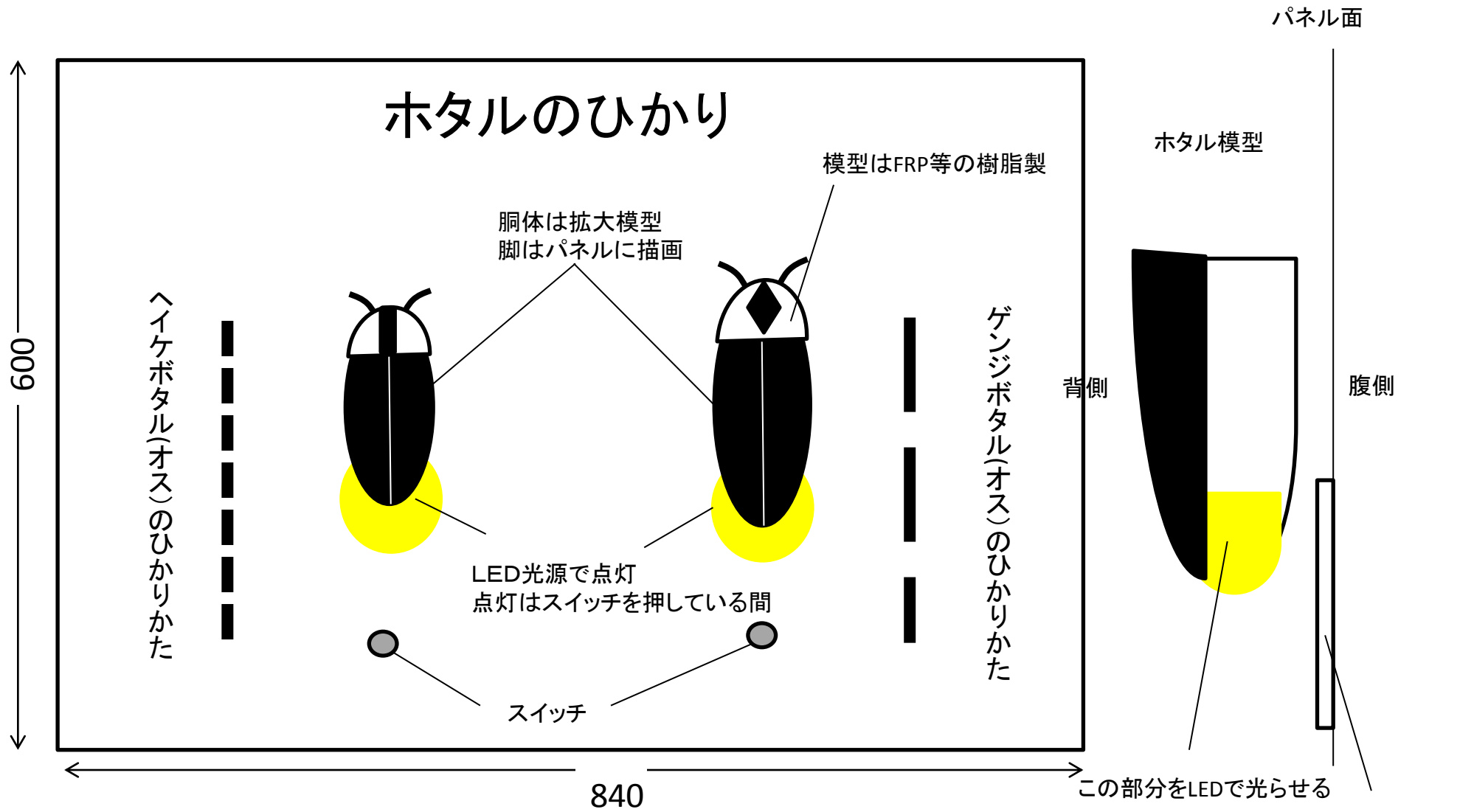


※ 会期終了後は横3列2段に連結して馬堀自然教育園に移設



※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

④-a 拡大模型付きパネル パネル1(ホタルのひかり)

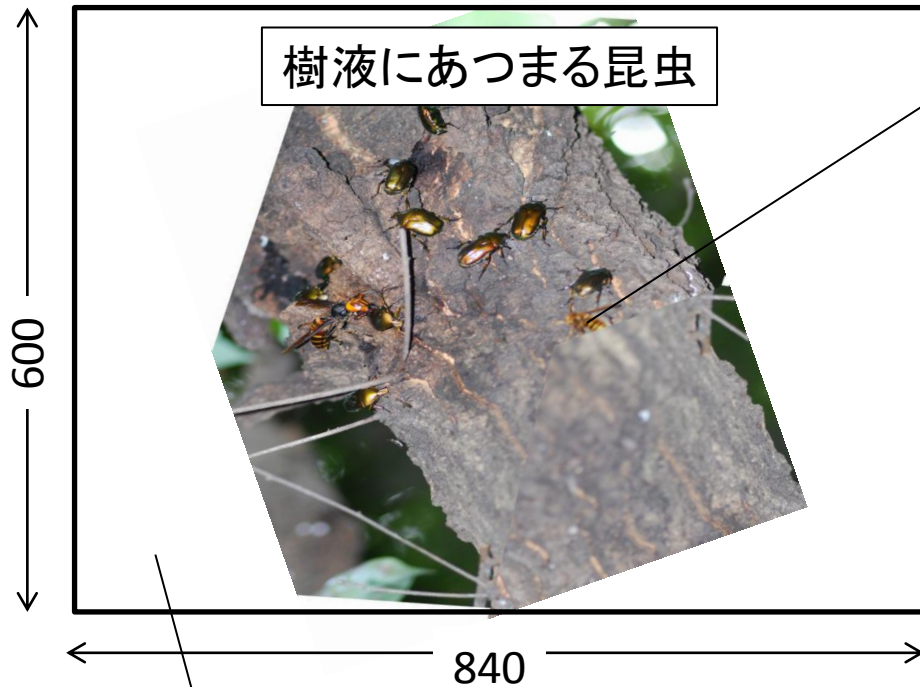


※発光部のデザインは当館提供の画像を参考にする

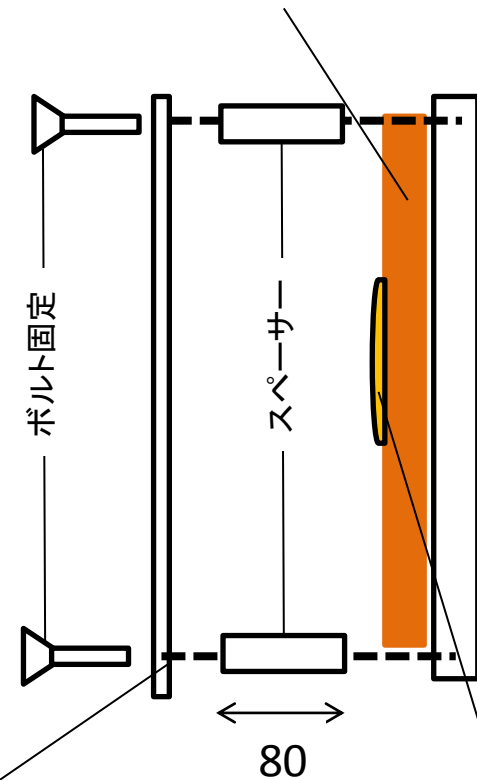
※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

④-b 拡大模型付きパネル パネル2 (樹液にあつまる昆虫)

クヌギ樹皮模型(発泡スチロールまたはウレタンなど虫ピンが刺さる素材)
虫ピンで実物昆虫標本を固定 厚さ30mm程度



背景は森林画像(博物館が提供)



標本保護のためのアクリルカバー

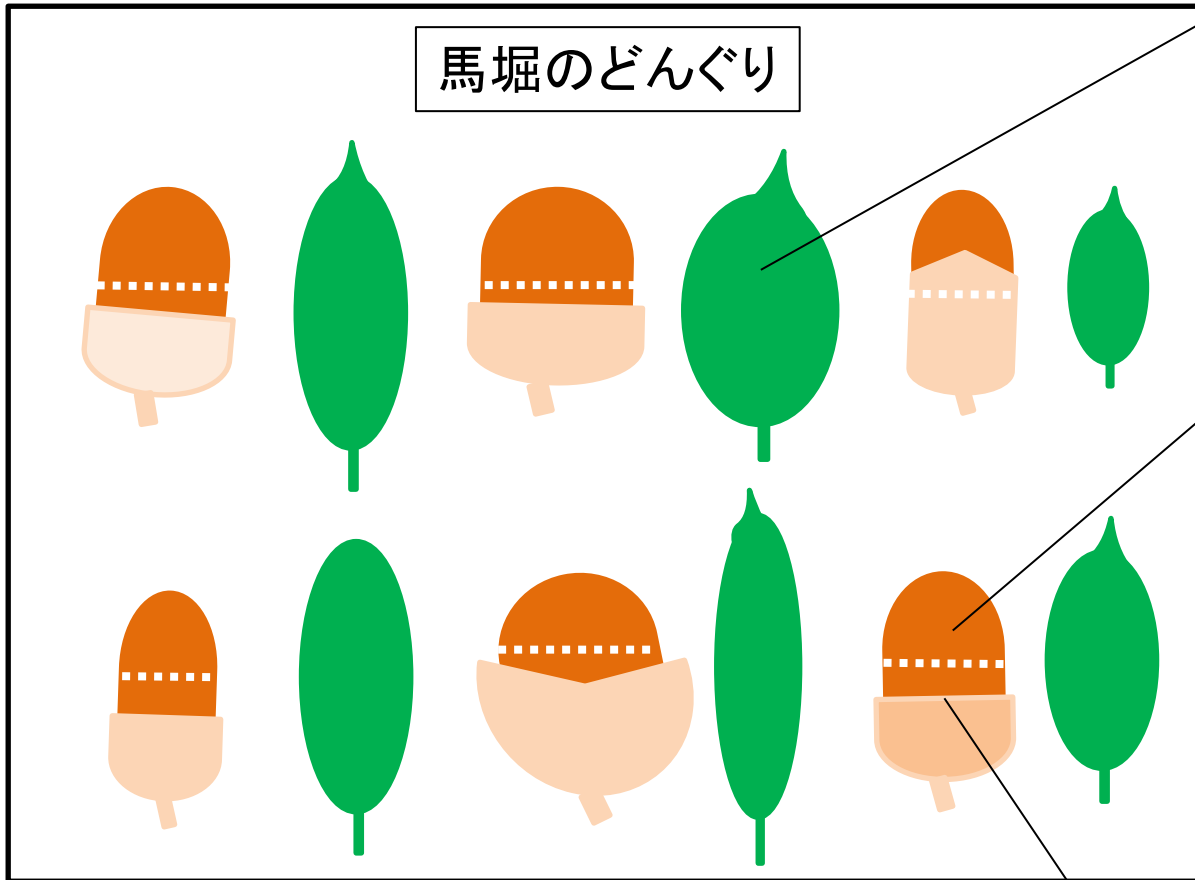
樹液模型エポキシ樹脂等でツヤ出し

※樹皮模型の参考とする画像は博物館提供

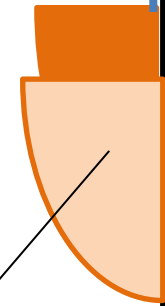
※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

④-c 拡大模型付きパネル パネル4 (馬堀のどんぐり)

背景は葉、花、果実などの画像で装飾



上半分は写真またはイラスト

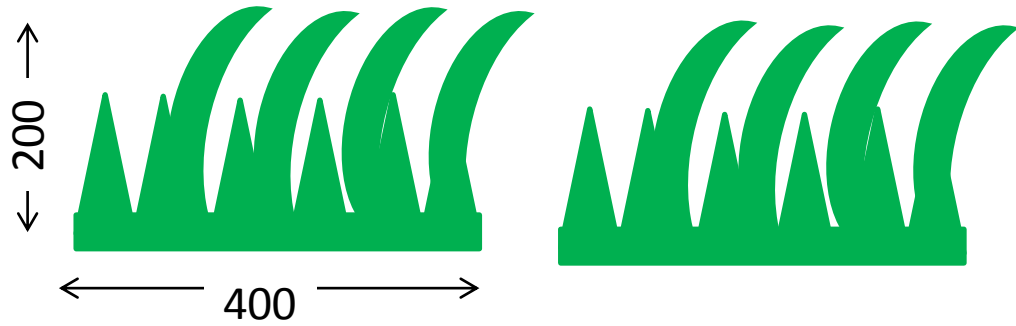


※参考とする画像は博物館提供

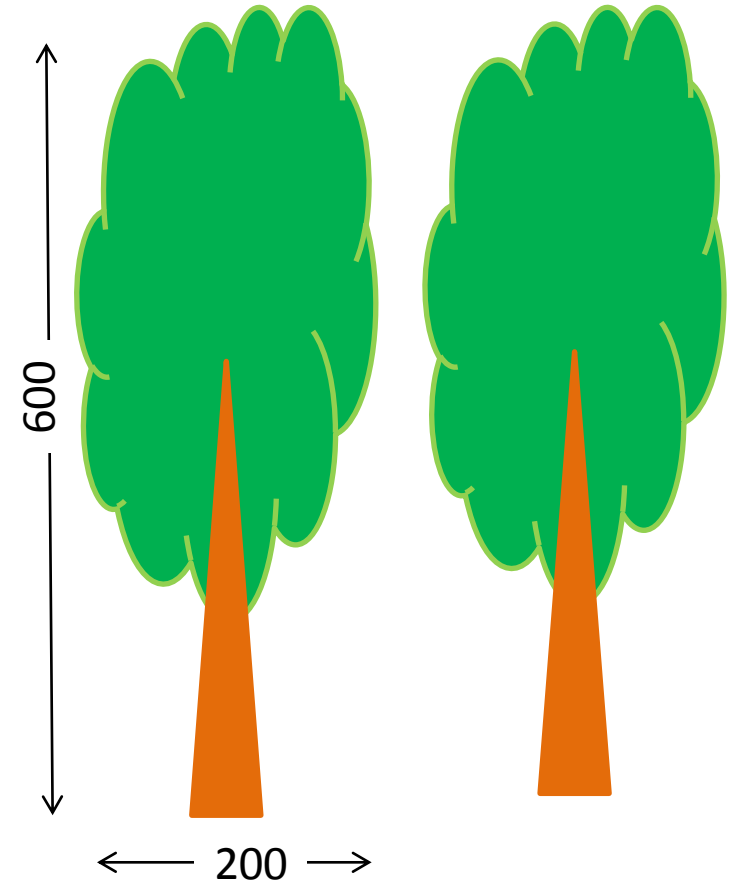
下半分はポケット型の樹脂模型にして
中に本物のどんぐりを入れる
(6個とも同様の構造)

※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

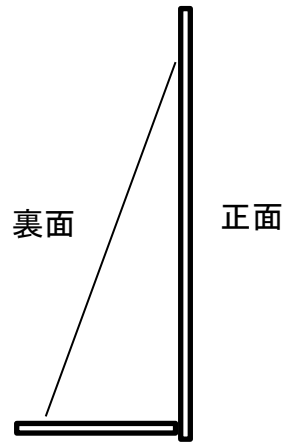
⑤ 書き割り 草本および木本



草本書き割り×2点



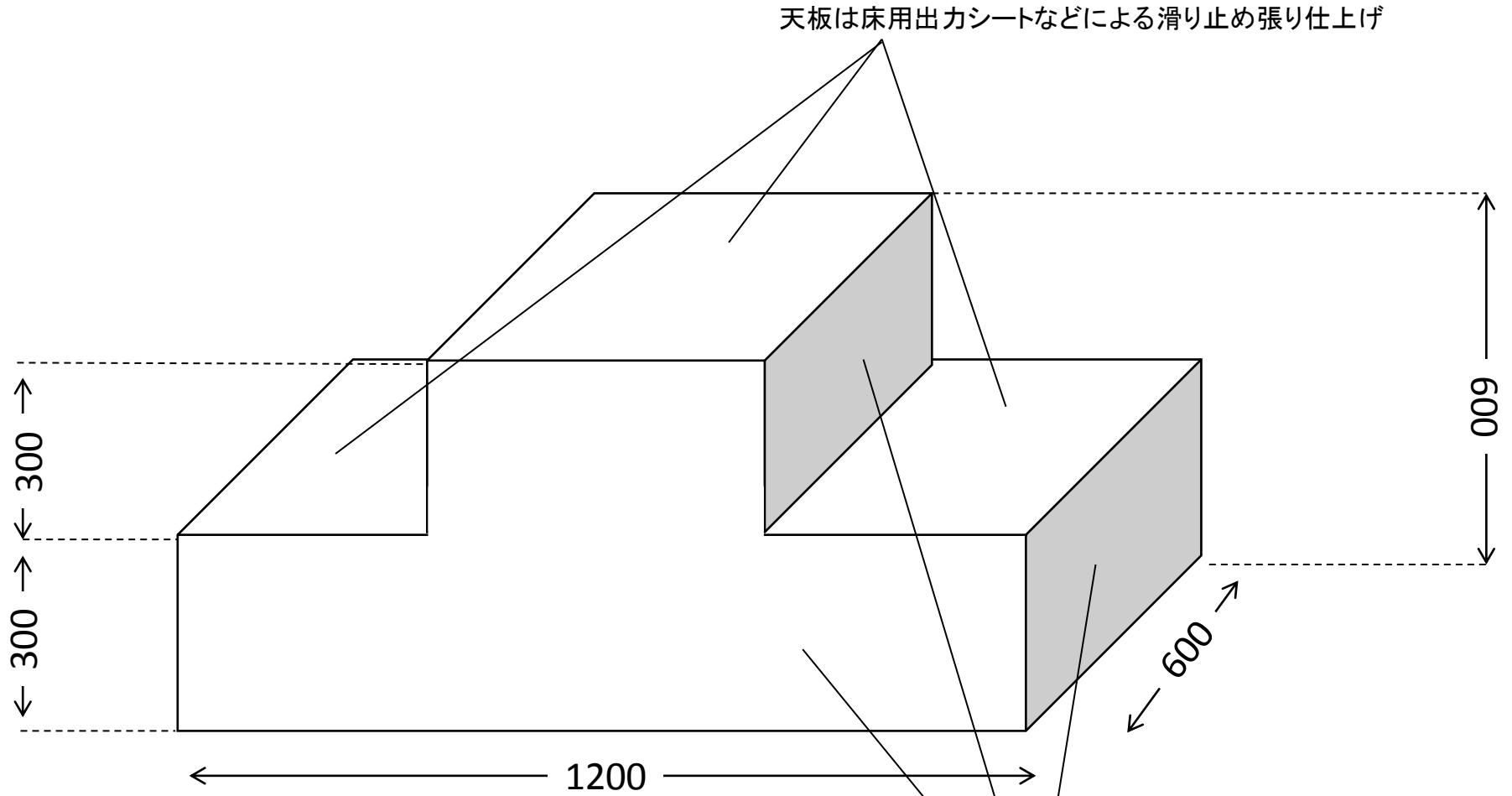
木本書き割り×2点



※ スチロール製 自立可能な構造

※ いずれも博物館が提示する植物写真を参考に製作する

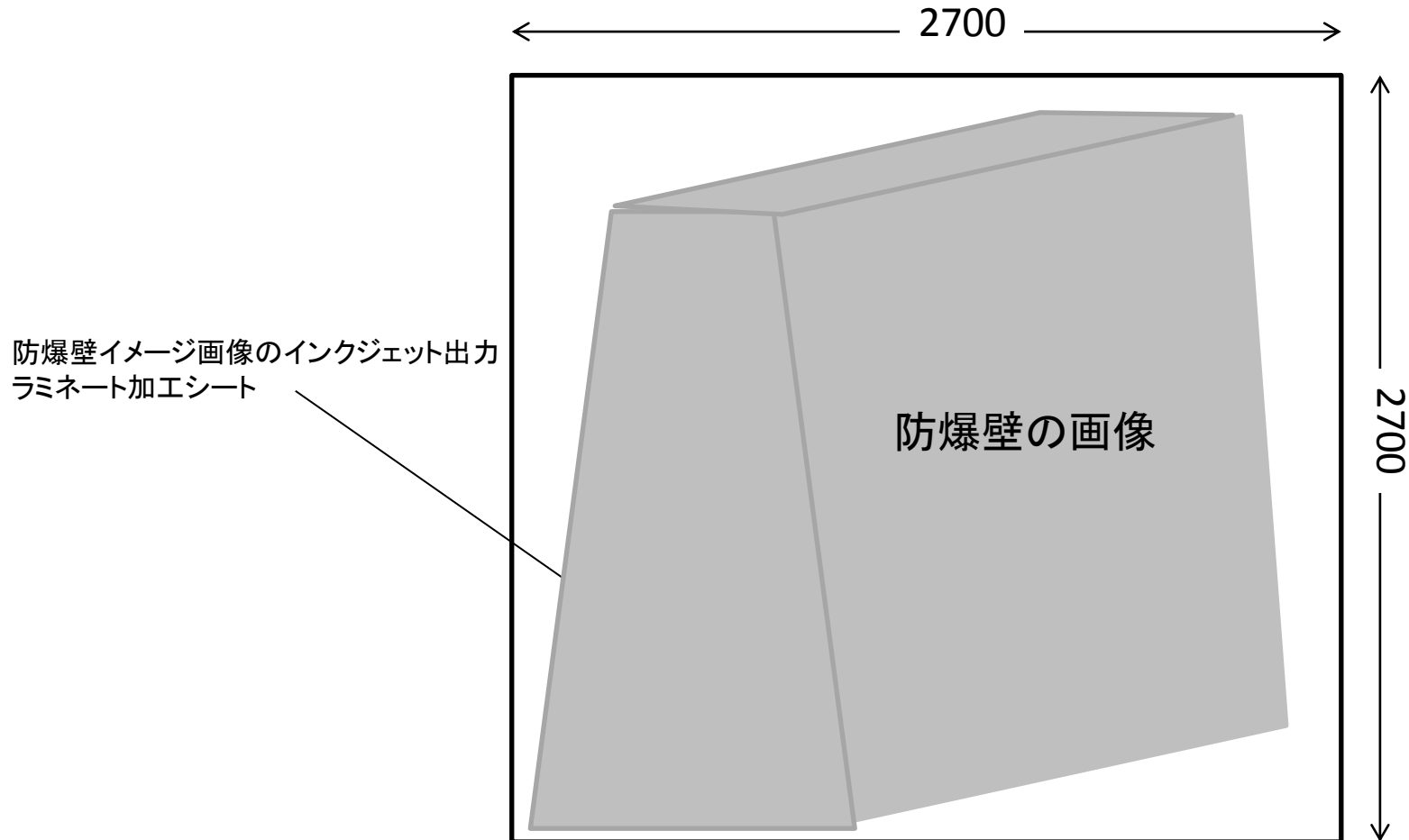
⑥ 木製階段(踏み台)



垂直面は化粧(デコラ)仕上げ

⑦ 防爆壁*を模した壁

※画像は博物館提供

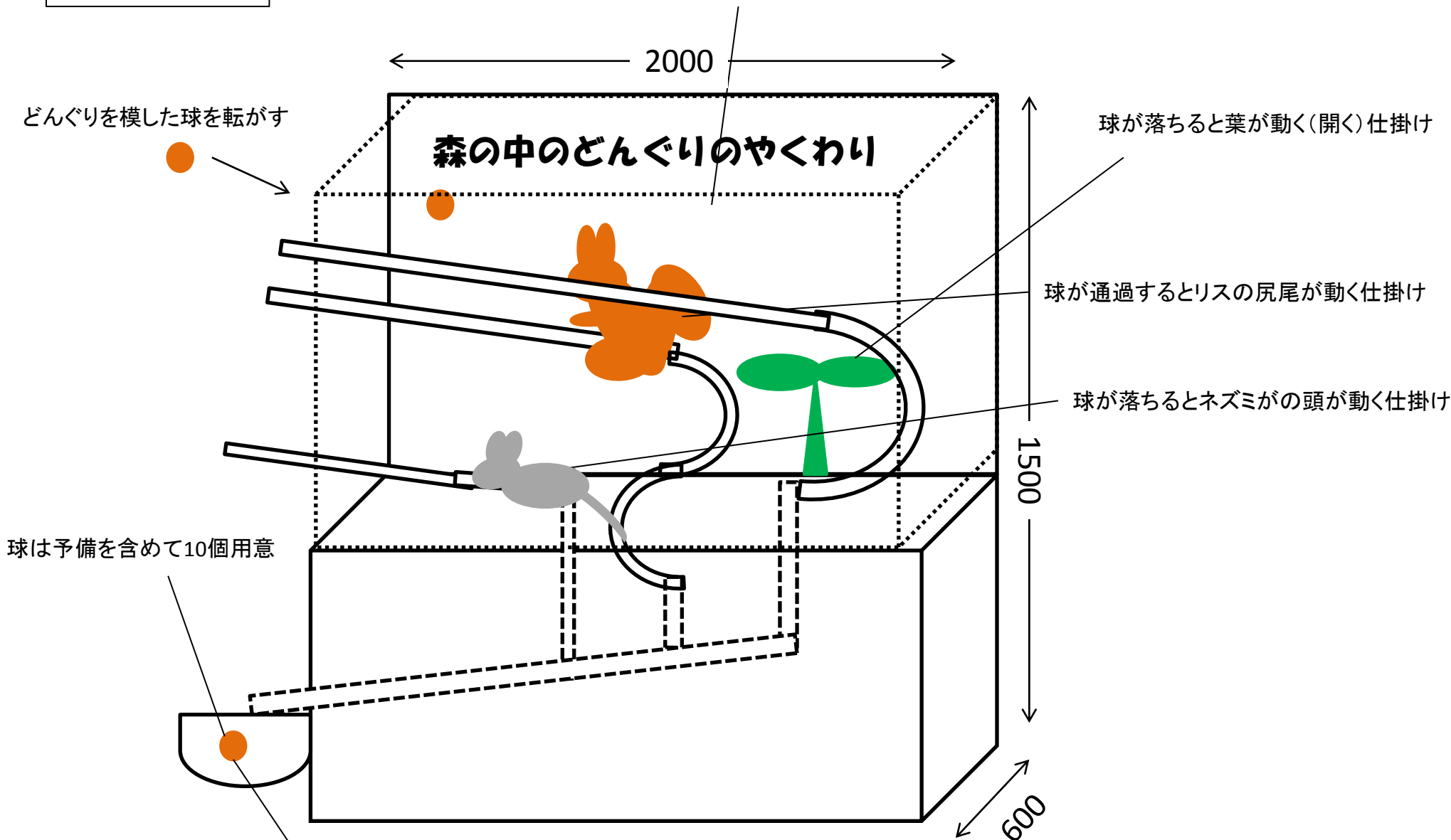


* 防爆壁とは：園内にある旧陸軍砲兵学校時代の歴史遺産。弾薬庫が爆発した際に周囲に爆風が広がらないようにするための強固なコンクリート擁壁。

⑧ 木製遊具

透明アクリル板で周囲3方を囲う

※会期終了後に馬堀自然教育園に移設



どんぐりを模した球を転がす

森の中のどんぐりのやくわり

球が落ちると葉が動く(開く)仕掛け

球が通過するとリスの尻尾が動く仕掛け

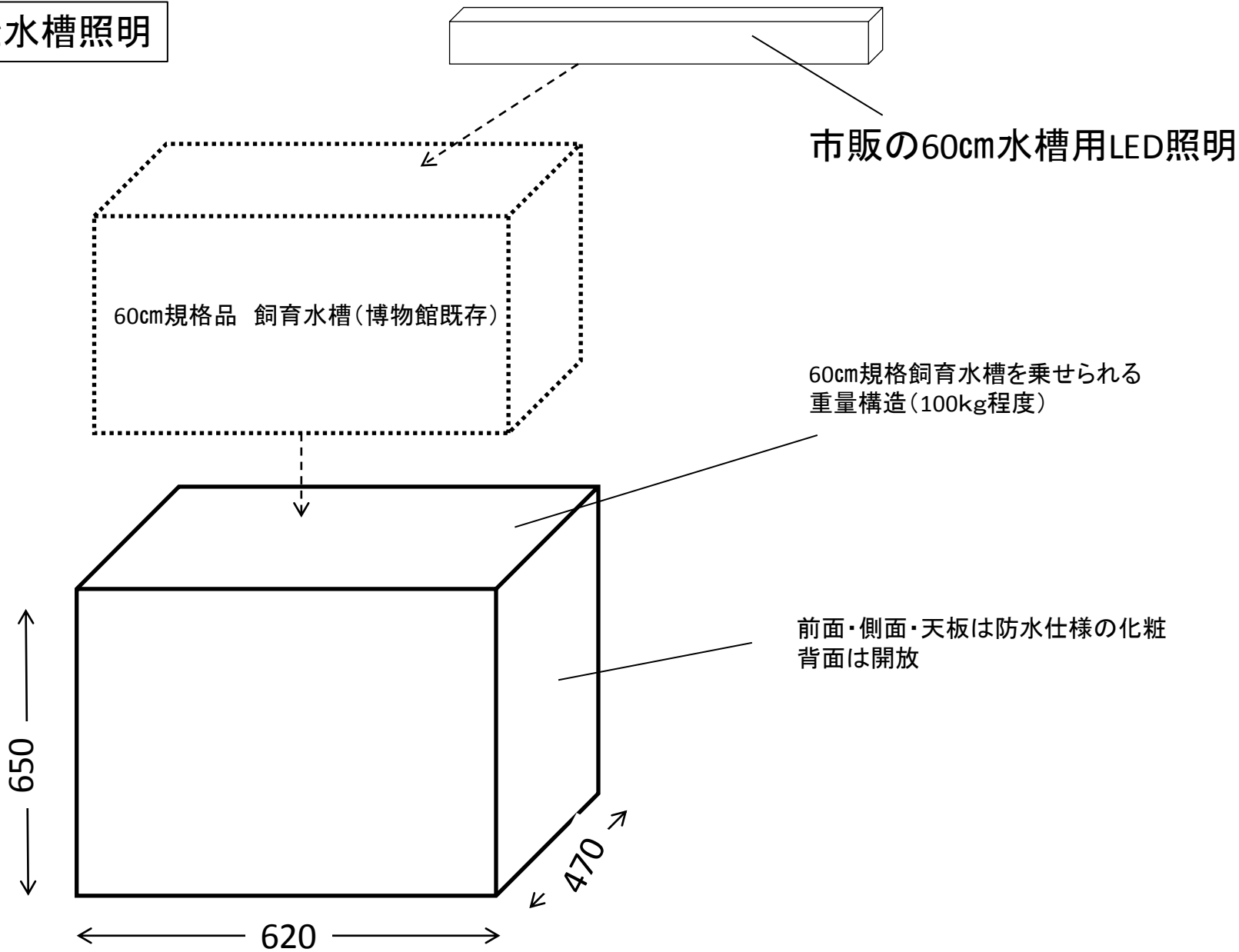
球が落ちるとネズミがの頭が動く仕掛け

球は予備を含めて10個用意

中を通った球は回収容器に落下

※レイアウト・デザインの詳細は博物館と協議する

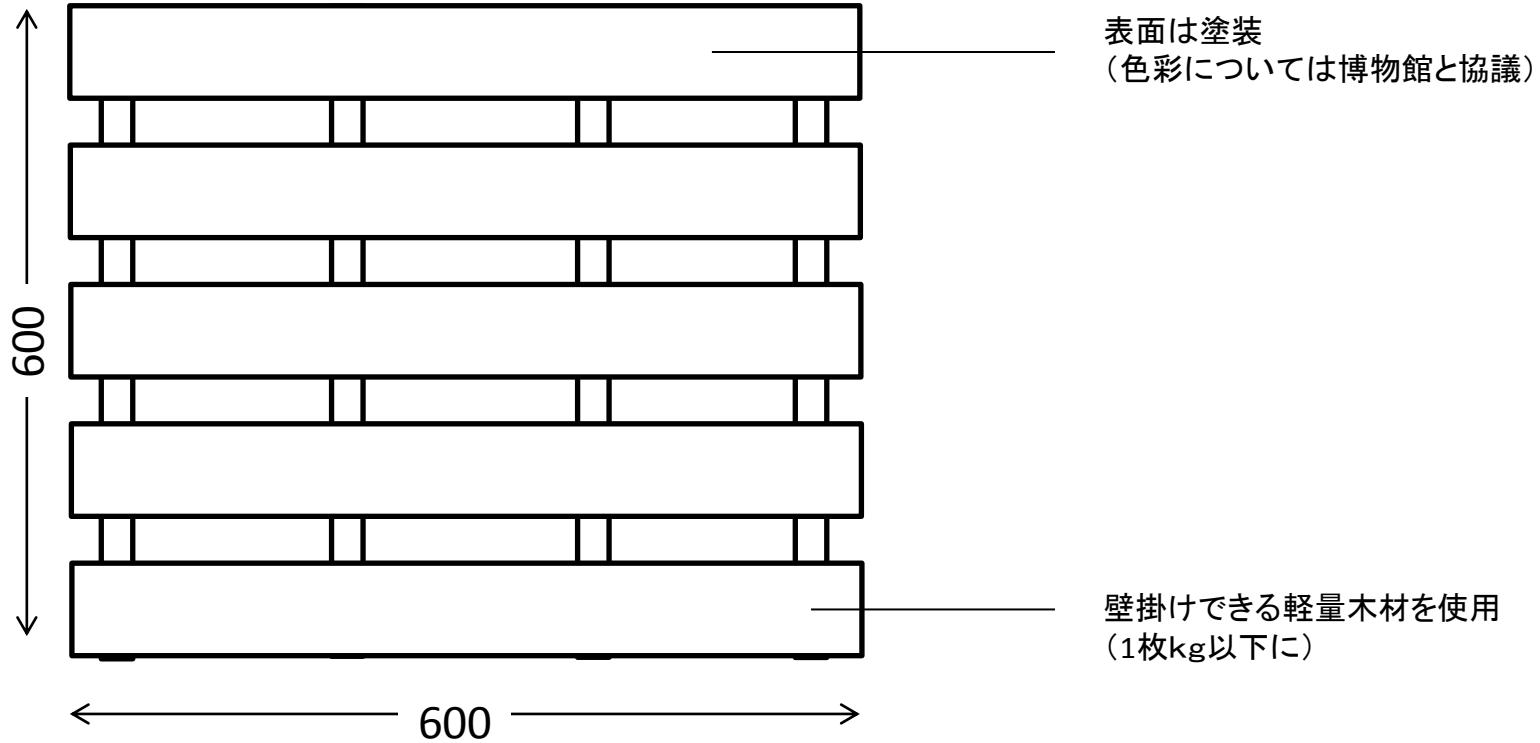
⑨ 水槽台と水槽照明



水槽台(木工)×5台

※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

⑩ 壁面装飾用簀子(すのこ)

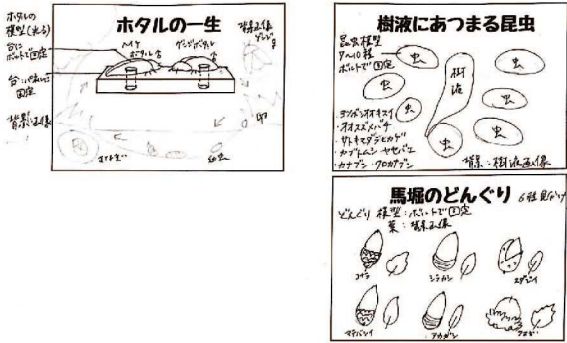


木製簀子×6点

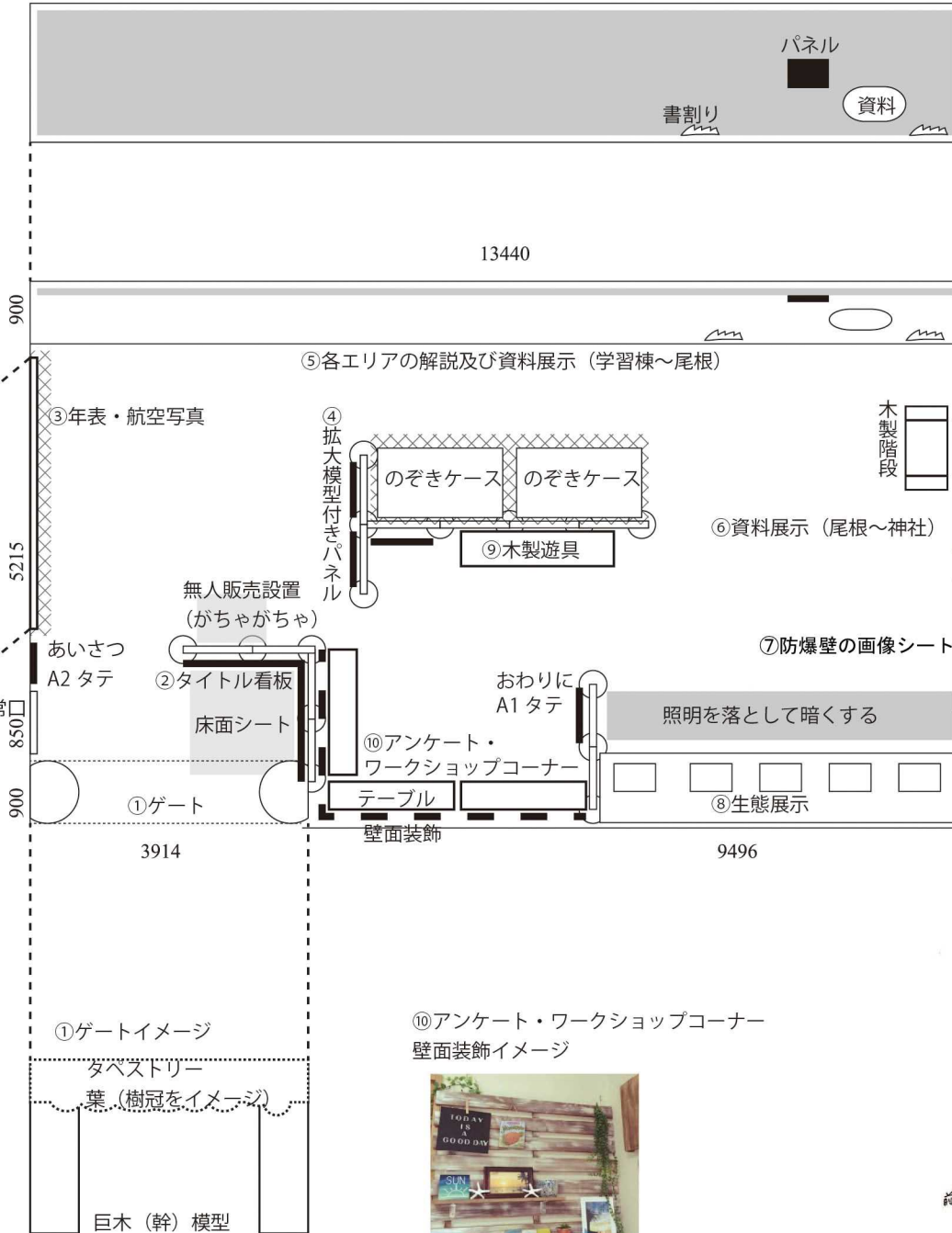
※会期終了後に馬堀自然教育園に移設

製作内容図面

④ 拡大模型付きパネルイメージ



③ 年表・航空写真イメージ



⑤ 各エリアの解説及び資料展示 (学習棟～尾根)

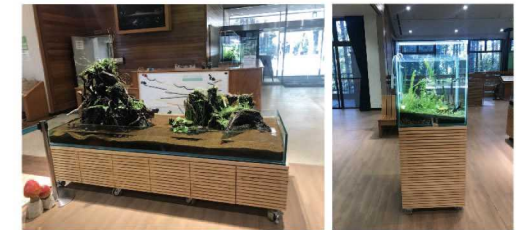
- のぞきケース内の展示
 弾薬庫跡等、歴史分野の展示
- ウォールケース内の展示
 ※奥行きのある展示をイメージ
- ・ パネル A2 ヨコ (学習棟～尾根、複数枚)
- ・ 映像展示 (デジタルフォトフレーム)
- ・ 資料 (はく製、昆虫標本、植物標本、化石など)
 (既存の標本台座を使用)
- ・ 書割り (前面) (草本×2) (木本×2)
- ・ タペストリー (背面)

⑥ 資料展示 (尾根～神社)

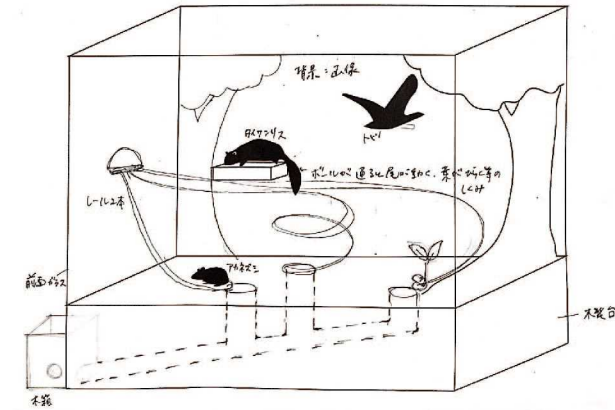
- ・ パネル A1 タテ 3 枚 (尾根～神社)
- ・ 木製階段 (踏み台、尾根部の標高の高さを演出)



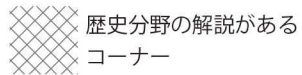
⑧ 生態展示イメージ



⑨ 木製遊具イメージ



⑩ アンケート・ワークショップコーナー
 壁面装飾イメージ



横須賀市自然・人文博物館 令和元年度特別展示

「おいでよ！まぼりの森 - 馬堀自然教育園の 60 年とこれから」 事業概要

はじめに

2019 年に開園 60 周年を迎える馬堀自然教育園は、三浦半島の特徴的な自然が半世紀以上にわたって残されている場所であり、2016 年には横須賀市の天然記念物に指定されました。木々が深く茂り起伏に富んだ園内の観察路からは天然記念物を構成する様々な動植物を観察することができます。また、当園は 1897 年(明治 30 年)から 1945 年(昭和 20 年)まで陸軍重砲兵学校施設として利用されてきたため、歴史を語る遺構も観察路沿いから間近に見ることもできます。馬堀自然教育園は、都市化が進む横須賀市内にあつて貴重な自然体験ができる環境であると同時に、横須賀の歴史を感じることができる施設です。

馬堀自然教育園の開園 60 周年を記念した特別展示を実施することで、園の魅力をより多くの市民に知っていただき来園につなげます。この 60 年で大きく変わった「横須賀の環境」を改めて知り、横須賀の「自然」や「歴史」の遺産を未来へどのように残していくかを考える機会を提供します。

展示期間

令和元年 7 月 27 日(土) ～ 令和元年 11 月 4 日(月・祝)

展示内容

コンセプト：馬堀自然教育園に行きたくなる展示

対象は小学生以上。教育園の保全事業や歴史的な解説を除いては、博物館資料や写真、映像などを中心に展示し、わかりやすく楽しいと感じられる内容にする。

展示のみどころ

・巨木模型：

園のシンボルであるシラカシとムクノキの巨木を再現した模型を入口ゲートに設置する。

・生態展示（動植物の水槽）

園内に生育する植物を材料にしたテラリウムを設置する。園内に生息するトウキョウサンショウウオやエビ、メダカ類の水槽展示を行う。

・木製玩具（生態系模型）

どんぐりに見立てた木の球をレールの上に転がし、いくつかのパターン（そのまま発芽する・タイワンリスに食べられる・アカネズミに埋められる等）を経てボールが土に還る（ボール回収箱に落ちる）様子を楽しむ玩具。生物間相互作用を遊びながら学べるようにする。

製作内容図面（別添）

番号は図面①～⑩に対応

①入口ゲート

シラカシとムクノキ巨木模型をゲートの両端に設置

展示後は巨木模型を壁面に固定して本館 2 階ジオラマに常設展示

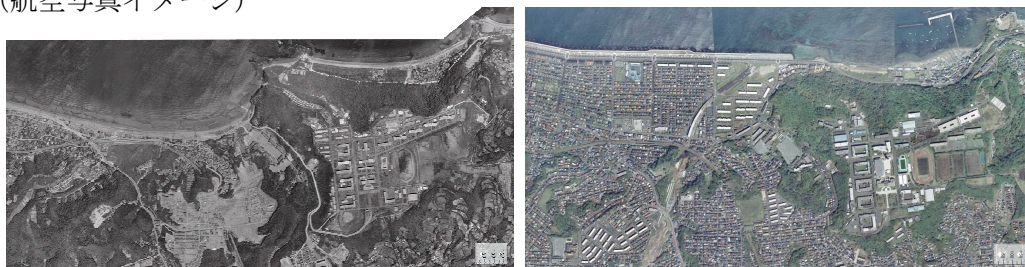
②タイトル看板

タイトル看板を背景にしたフォトブースを設置

③年表・航空写真（馬堀自然教育園のあゆみ）

教育園を含めた馬堀地域の年表と航空写真を展示

（航空写真イメージ）



展示後は馬堀自然教育園に移設

④代表的な生物の拡大模型および解説・紹介

- ・ゲンジボタル、ヘイケボタルの違いやの生活環
- ・カブトムシ等の樹液に集まる昆虫
- ・園内に生育するどんぐり 6 種の見分け方

展示後は馬堀自然教育園に移設

⑤学習棟～尾根エリアの解説

- ・ウォールケース：学習棟から尾根までを 6 つのエリア（学習棟、下の池、水路、上の池、水源地、急斜面）（仮）に分けて自然の見どころを紹介
- ・のぞきケース：重砲兵学校施設（現在の倉庫、飼育棟）の解説

⑥尾根～神社エリアの解説と木の階段

- ・尾根～神社までを 4 つのエリアに分けて（尾根、シダの谷、古井戸、神社）自然の見どころと神社の解説

[尾根でみられるどんぐりやきのこの解説、古井戸付近から算出する化石、神社エリアに生育する市内希少植物、神社から見える猿島（及び東京湾要塞）と馬堀との関連等]

・尾根部分の解説パネル前に木製階段)を設置し、高低差がある園内の様子を表現する(展示後は展示台としても使用可能なものとする)

⑦防爆壁を模した壁

⑧生態展示

動植物の水槽展示

生態展示を囲むように防爆壁を模した壁を設置することで園内の暗いエリアを表現

⑨木製玩具

生態系を遊びながら学べるしかけ

展示後は馬堀自然教育園の学習棟に設置

⑩アンケート・ワークショップコーナー

アンケートの他、顕微鏡観察やスケッチ、ぬりえ等のコーナーを設置

壁面をすのこ状のもので装飾(広告物をピンやテープでとめられるようにする)したインフォメーションコーナーを設置(展示後は馬堀自然教育園の受付に移設)

委託内容

- ・展示制作委託(上記①～⑦、⑨～⑩)
- ・ポスター制作 A2 750 枚
- ・チラシ制作 A4 10,000 枚
- ・展示解説書 A5 2,000 部
- ・広告用ノベルティ ハンドタオル
ガチャガチャ本体(硬貨を挿入しカプセルに封入された販売物を購入するもの)を設置